

「高砂市新たな学校づくり推進計画」 における方向性

■ 4つの方向性

1 多様な教育活動ができる学習集団の規模の確保

適正規模
小学校：12学級から24学級
中学校：12学級から18学級

適正配置
小学校：おおむね4km、60分以内
中学校：おおむね6km、60分以内

2 新しい時代の学びに対応した教育環境の整備

連続性のある学びの推進

新たな学びへの対応

3 安全・安心、快適に過ごすことができる施設の整備

学校施設の安全性の
確保と機能性の向上

多様なニーズ
への支援

児童生徒、教職員
が快適に過ごせる
学校施設

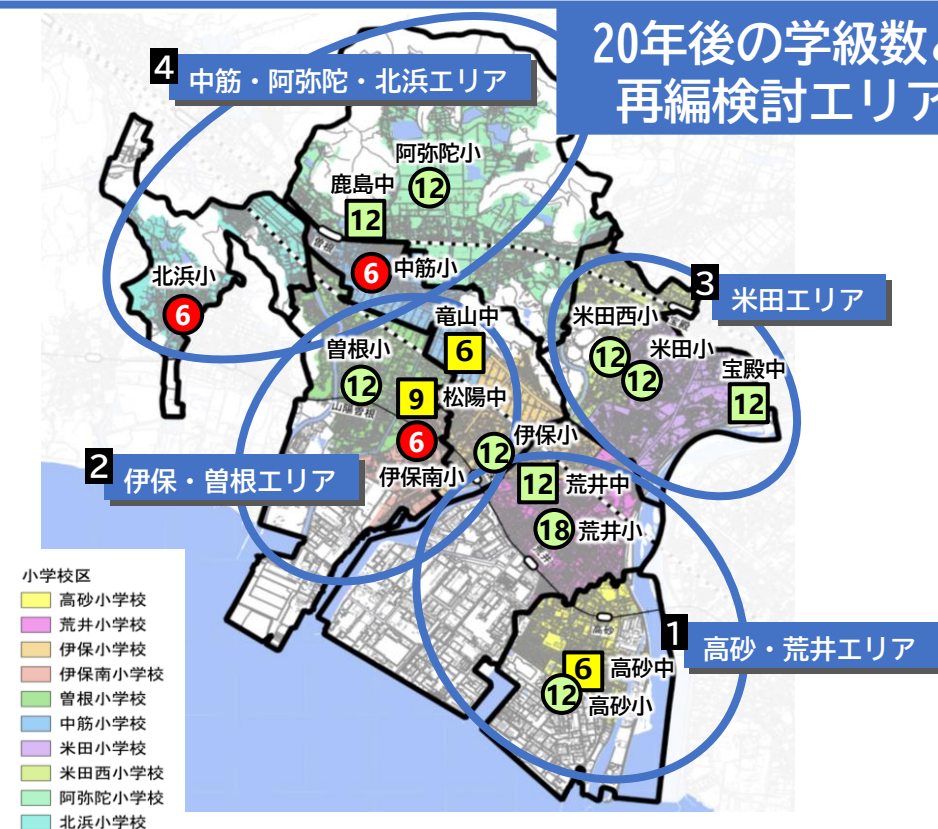
4 学校と地域の連携の充実

地域とともにある
学校の推進

学校環境の向上に資する
学校施設の複合化の
検討

避難施設としての
防災機能強化

20年後の学級数と 再編検討エリア



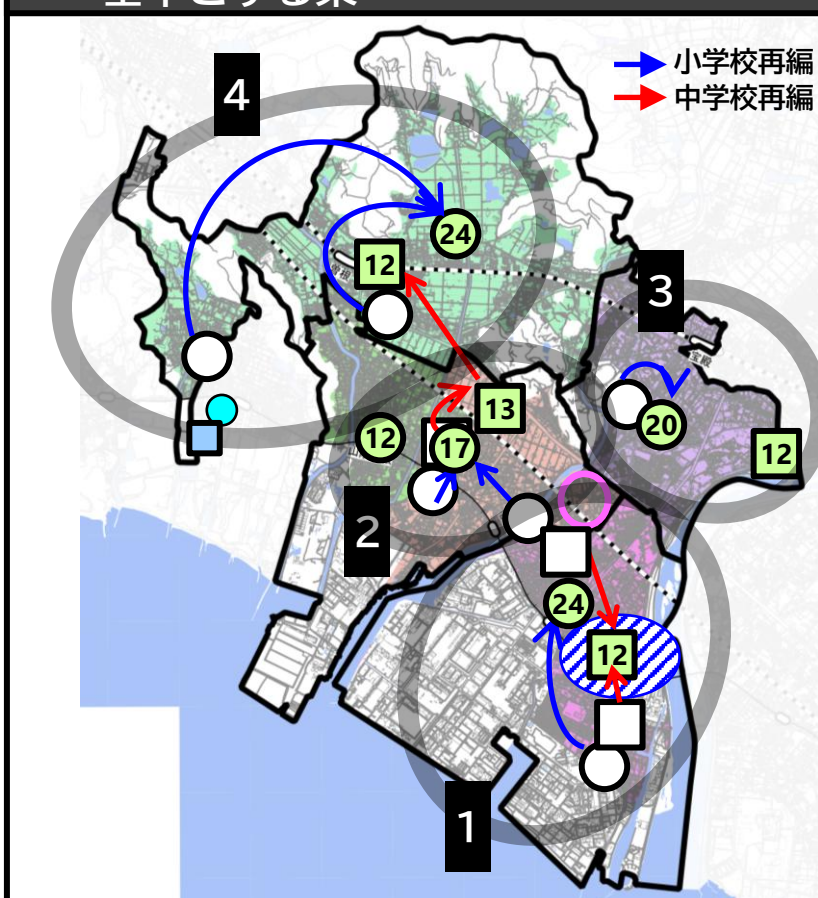
高砂市学校再編の全体像

<再編検討条件>

- 適正規模の確保
方向性で定めた小学校及び中学校の適正規模を確保する。
- 適正配置
方向性で定めた適正配置内でも遠距離になる場合は通学支援策を検討する。
- 小中一貫教育の推進
小中一貫教育を更に推進するため、小学校及び中学校を可能な限り同一敷地内で設置することを検討する。
やむを得ず、小学校と中学校を別敷地で検討する場合は、施設相互の距離をできるだけ短くなるよう配慮する。

案①

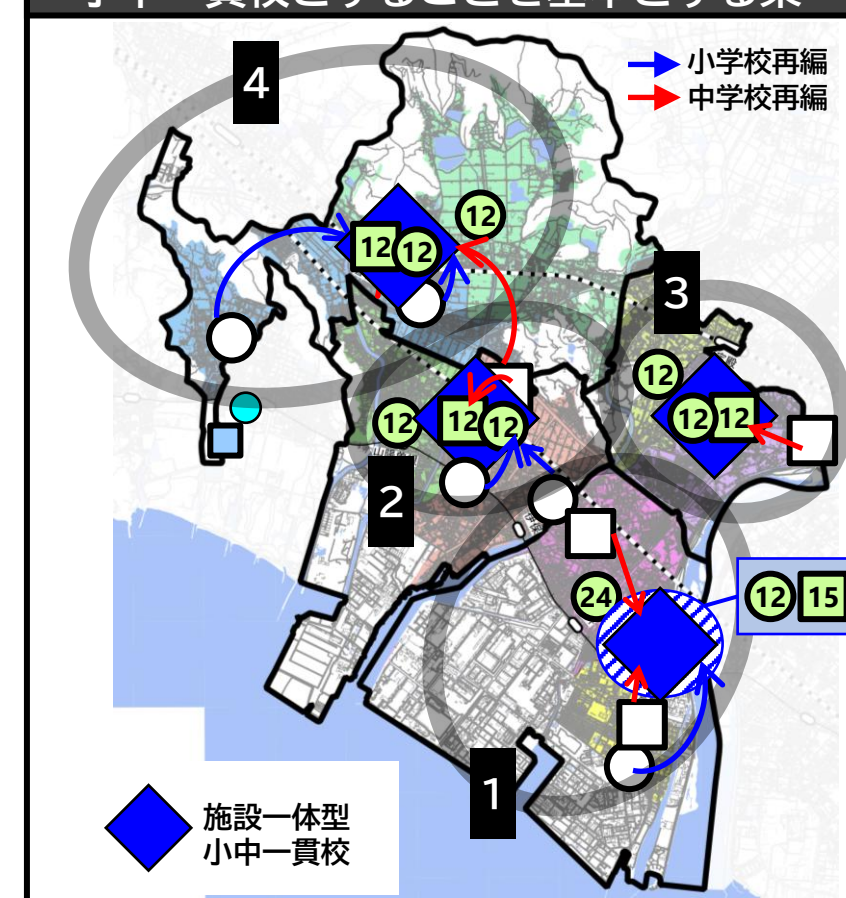
小学校同士、中学校同士の統合を 基本とする案



- 高砂小・荒井小の統合〔現・荒井小〕
● 高砂中・荒井中の統合
● 荒井中（一部）を竜山中に校区変更
- 伊保小・伊保南小の統合〔現・松陽中〕
● 竜山中（主に伊保小学校区部分）・松陽中の統合〔現・竜山中〕
● 曽根小はそのまま存続
- 米田小・米田西小の統合〔現・米田小〕
● 宝殿中はそのまま存続
- 中筋小・阿弥陀小・北浜小の統合〔現・阿弥陀小〕
● 竜山中（中筋小学校区部分の一部）・鹿島中の統合〔現・鹿島中〕
※北浜町北脇・西浜は、市境に縛られない柔軟な通学が可能となる広域的な教育連携について検討

案②

小学校と中学校を統合し、施設一体型 小中一貫校とする基本とする案



- 高砂小・高砂中・荒井中の施設一体型小中一貫校化
● 荒井小はそのまま存続
- 伊保小（一部）・伊保南小・竜山中（主に伊保小学校区部分）・松陽中の施設一体型小中一貫校化〔現・松陽中〕
● 曽根小はそのまま存続
- 米田小・宝殿中の施設一体型小中一貫校化〔現・米田小〕
● 米田西小はそのまま存続
- 中筋小・北浜小・鹿島中・竜山中（中筋小学校区部分の一部）の施設一体型小中一貫校化〔現・鹿島中〕
● 阿弥陀小はそのまま存続
※北浜町北脇・西浜は、市境に縛られない柔軟な通学が可能となる広域的な教育連携について検討